

第 6 章

道路建設課 道路維持課



(平成 6 年 4 月開通。主要地方道比内大葛鹿角線)

第 1 節 道路事業の概要

第 2 節 道路建設課

第 3 節 道路維持課

第1節 道路事業の概要

1. 道路の概要

本県は、東京都・埼玉県・千葉県を合わせた面積を更に上回る総面積 11,612.9km²、南北 181km、東西 111kmの大県で、県境を奥羽山脈と那須火山帯が縦走し、また南北を分断する形で出羽山地があり、可住地面積割合も 26.6%と全国 32%に比べ下回っている。

このような地域特性から、県内の道路は主に日本海沿いの秋田平野、雄物川沿いの横手盆地また米代川沿いの大館鷹巣盆地・能代平野に集中しており、山地部においてはその地形的障害から道路そのものが少なく、道路網密度は全国都道府県中 46 位ときわめて低い状況にある。

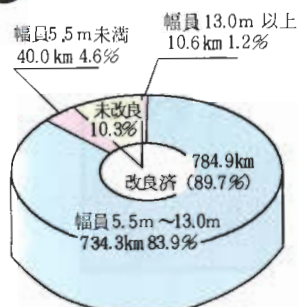
しかしながら多極分散型の国土を形成するための根幹となる東北縦貫自動車道弘前線が、昭和 61 年 7 月に県北部を全通し、ようやく本県も高速時代を迎えた。さらに平成 3 年 7 月 25 日には、県都秋田市に乗り入れる県民待望の東北横断自動車道釜石秋田線、秋田横手間 56.1kmが開通し、平成 3 年度からスタートした新総合発展計画では、交通体系の整備を最重点に掲げ実施している。

(1) 道路の現況

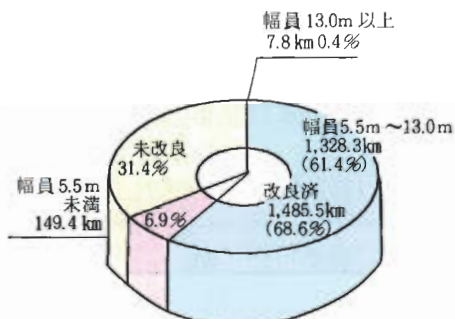
①改良済・未改良別延長

(H 5 秋田県台路台帳)

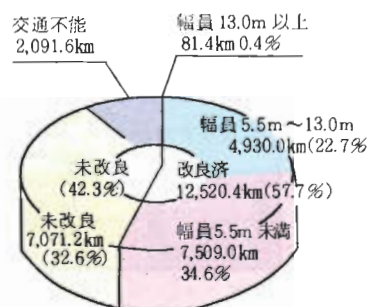
道路区分	幅員 実延長 (km)	改 良 済					未 改 良	
		13.0m 以上	5.5m以上 ～13.0m	小 計	5.5m未満	計	未改良 延長	内自動車 交通不能
高速自動車国道	98.0	98.0	—	98.0	—	98.0	—	—
一般国道	指定区間	396.2	356.6	396.2	0	396.2	0	0
	指定区間外	875.5	734.3	744.9	40.0	784.9	90.6	0
	合 計	1,271.7	1,090.9	1,141.1	40.0	1,181.1	90.6	0
	主要地方道	941.5	629.7	635.3	70.3	705.6	235.9	34.3
	一般県道	1,223.4	698.6	700.8	79.1	779.9	443.5	27.5
	合 計	2,164.9	1,328.3	1,336.1	149.4	1,485.5	679.4	61.8
	国・県道計	3,436.6	2,419.2	2,477.2	189.4	2,666.6	770.0	61.8
市町村道	市町村道	18,246.6	2,510.8	2,534.2	7,319.6	9,853.8	8,392.8	2,029.8
	合 計	21,683.2	4,930.0	5,011.4	7,509.0	12,520.4	9,162.8	2,091.6
総 合 計	21,725.0	123.2	4,930.0	5,053.2	7,509.0	12,562.2	9,162.8	2,091.6



一般国道（指定区間外）



都道府県道

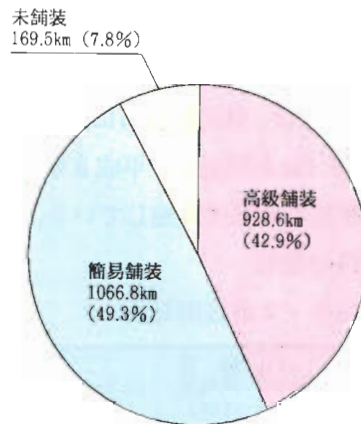
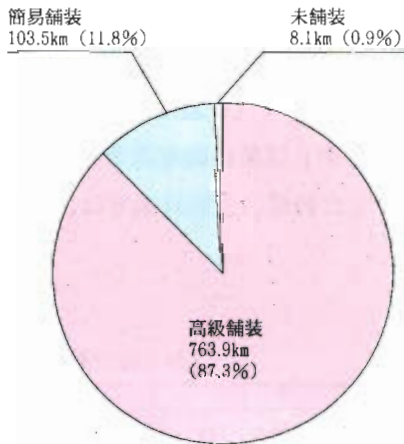


一般道路合計

②路面種別・構造種類別延長

(H 5 秋田県台帳)

道 路 区 分	幅員 実延長 (km)	路面別延長 (km)			種類別延長(km)		
		高級舗装	簡易舗装	未 舗 装	土工延長	橋梁延長	トンネル 延 長
高速自動車道	98.0	98.0	—	—	85.2	7.1	5.7
一 般 道 路	国 道 指定区間	396.2	396.2	—	377.7	12.0	6.5
	指定区間外	875.5	763.9	103.5	841.5	24.5	9.5
	合 計	1,271.7	1,160.1	103.5	1,219.2	36.5	16.0
	主要地方道	941.5	505.1	387.6	924.3	15.6	1.6
	一般県道	1,223.4	423.5	679.2	1,201.9	20.9	0.6
	合 計	2,164.9	928.6	1,066.8	2,126.2	36.5	2.2
	国・県道計	3,436.6	2,088.7	1,170.3	3,345.4	73.0	18.2
市 町 村 道	市 町 村 道	18,246.6	1,164.9	8,388.9	18,138.3	103.9	4.4
	合 計	21,683.2	3,253.6	9,559.2	21,483.7	176.9	22.6
総 合 計	21,725.0	3,295.4	9,559.2	8,870.4	21,516.4	180.8	27.8



一 般 国 道 （ 指 定 区 間 外 ）

都 道 府 県 道

③ 道路普及率

本県の道路整備の現状は、国県道においては改良率・舗装率・整備率とも全国平均を上回っているが、市町村道も含めた県全体の舗装率は全国 47 都道府県中 40 位、また道路網密度も 46 位と大幅に下回っている。このため、都市内の交通渋滞や地方部ではすれちがいができないなど、量・質的にもまだまだ満足できる状況ではない。

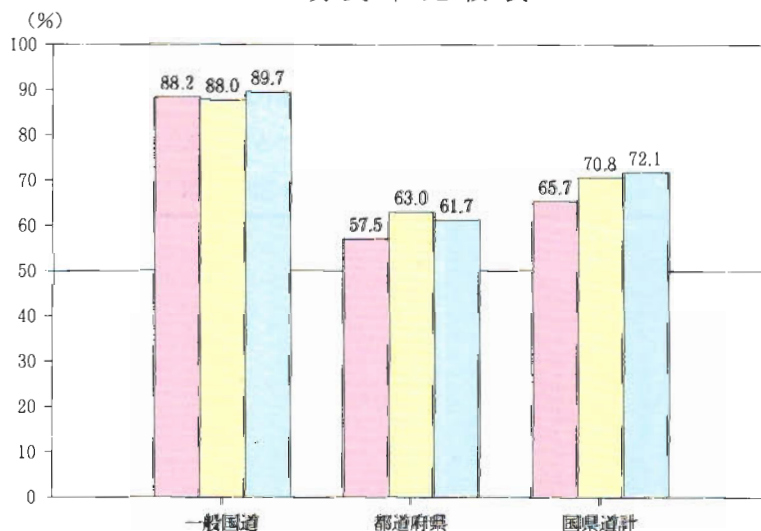
道路普及率比較表（道路統計年報1993）

ブロック別	面積 A (km ²)	総人口 B (千人)	国県道延長 C (km)	道路網密度 C/A (m/km ²)	千人当り 道路延長 C/B(km)	道路面積 D (km ²)	道 路 率 D/A (%)
全 国	377,583	124,452	176,317.5	467.0	1.42	6,133.08	1.62
東 北	66,880	9,752	24,038.2	367.0	2.56	789.60	1.21
秋 田 県	11,613	1,219	3,415.9	294.1	2.80	114.90	0.99
都道府県順位	6 位	35位	24位	46位	7 位	24位	43位

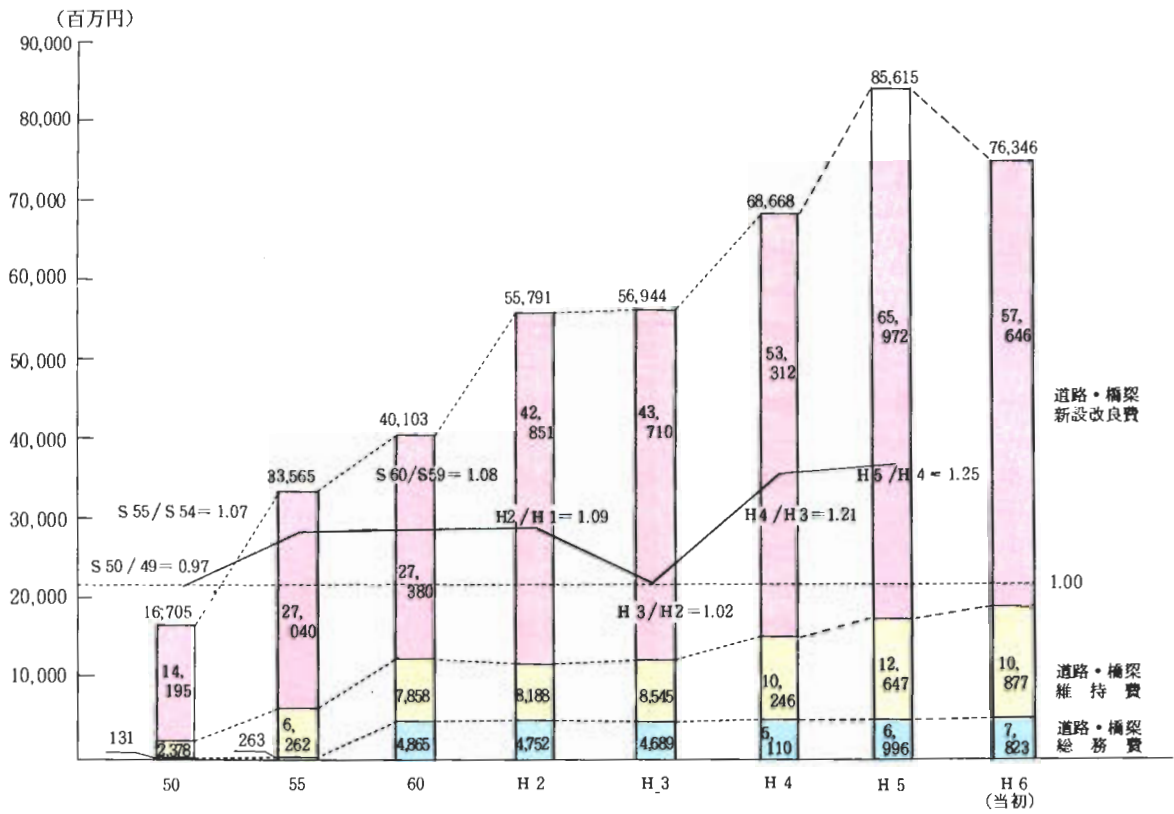
道路改良率・舗装率・整備率比較表（道路統計年報1993、H 5 秋田県道路台帳）

道 路 区 分		全 国		東 北		秋 田	
		実延長 (km)	改良率 舗装率 整備率	実延長 (km)	改良率 舗装率 整備率	実延長 (km)	改良率 舗装率 整備率
一般国道 都道府県道 市町村道 合 計	指 定 区 間	20,671.3	99.7 98.4 50.9	2,471.5	99.9 100.0 45.6	396.2	100.0 100.0 50.6
	指 定 区 間 外	26,362.0	79.4 80.1 58.0	4,868.8	82.0 78.1 71.3	875.5	85.1 87.3 72.7
	小 計	47,033.3	88.2 88.2 54.9	7,340.3	88.0 85.5 62.4	1,271.7	89.7 91.2 65.0
	主 要 地 方 道	50,454.6	67.9 62.2 52.0	6,780.7	74.9 59.4 66.7	941.5	67.5 53.6 60.0
	一 般 県 道	78,829.6	50.9 41.1 44.1	9,595.6	54.6 38.8 51.8	1,223.4	57.3 34.6 53.2
	小 計	129,284.2	57.5 49.4 47.1	16,376.3	63.0 47.3 58.6	2,164.9	61.7 42.9 58.1
	国 ・ 県 道 計	176,317.5	65.7 59.7 49.2	23,716.6	70.8 59.1 60.0	3,436.6	72.1 60.8 60.4
	市 町 村 道	943,472.0	45.2 15.3 45.2	118,311.8	45.9 7.6 47.9	18,246.6	54.0 6.4 53.1
	合 計	1,119,789.5	48.4 22.3 45.8	142,028.4	50.3 16.2 50.0	21,683.2	56.9 15.0 54.3

改 良 率 比 較 表



2. 道路事業費の推移



第2節 道路建設課

1. 事務分掌（道路建設課）

	区 分	事 務 分 掌	人 員	備 考
道 路 建 設 課	総 務 担 当	1. 人事、各季団体、議会に関すること 2. 予算、決算、監査、公共事業再配当に関すること 3. 給与、旅費、文書、工事経理、収支計画 4. 各種協定、調査 5. 課内の連絡調整に関すること	5	主席 1 補佐 1 主査 1 主任 1 運転技師 1
	企 画 担 当	1. 調査、議会、企画調整に関すること 2. 広報、公聴、陳情等の処理 3. 道路整備計画、協議会関供の調整に関すること	4	補佐 1 主査 1 主任 1 技師 1
	高速道路担当	1. 高速自動車の整備に関すること	3	補佐 1 主査 1 技師 1
	国 道 担 当	1. 国道改良・特一・舗装新設 2. 国道橋梁整備 3. 国道県単橋梁・舗装	4	補佐（地 方道（兼）） 1 主査 3
	地方道担当	1. 地方道改良・特一・舗装新設・橋梁整備(8) 2. 県単橋梁・舗装 3. 緊急地方道・石油備蓄交付金 4. ふるさとづくり事業 5. 地方特定・生活圏30分形成道路	4	主査 1 主任 2 技師 1

路・橋梁
改良費

路・橋梁
持 費
路・橋梁
務 費

2. 道路建設の基本理念

① 道路整備の方針

平成6年度における道路の整備方針については、第11次道路整備5箇年計画（総投資額76兆円）の2年目として、国の3つの主要課題

(1) 生活者の豊かさを支える道路整備の推進

- 1) 暮らしの利便性向上のための道路整備の推進
- 2) " 安全性向上 "
- 3) " 快適性向上 "

(2) 活力ある地域づくりのための道路整備の推進

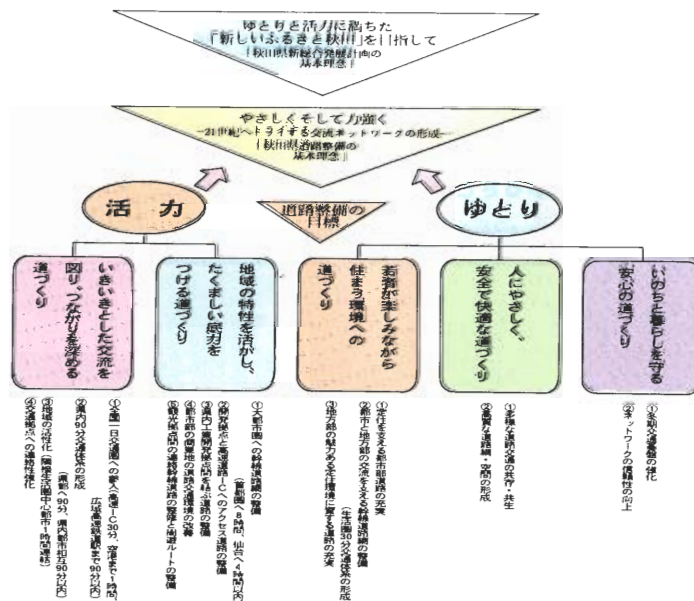
- 1) 交流ネットワークの充実
- 2) 地域集積圏の民成
- 3) 住宅宅地の供給とそれを支える道路整備

(3) 良好な環境創造のための道路整備の推進

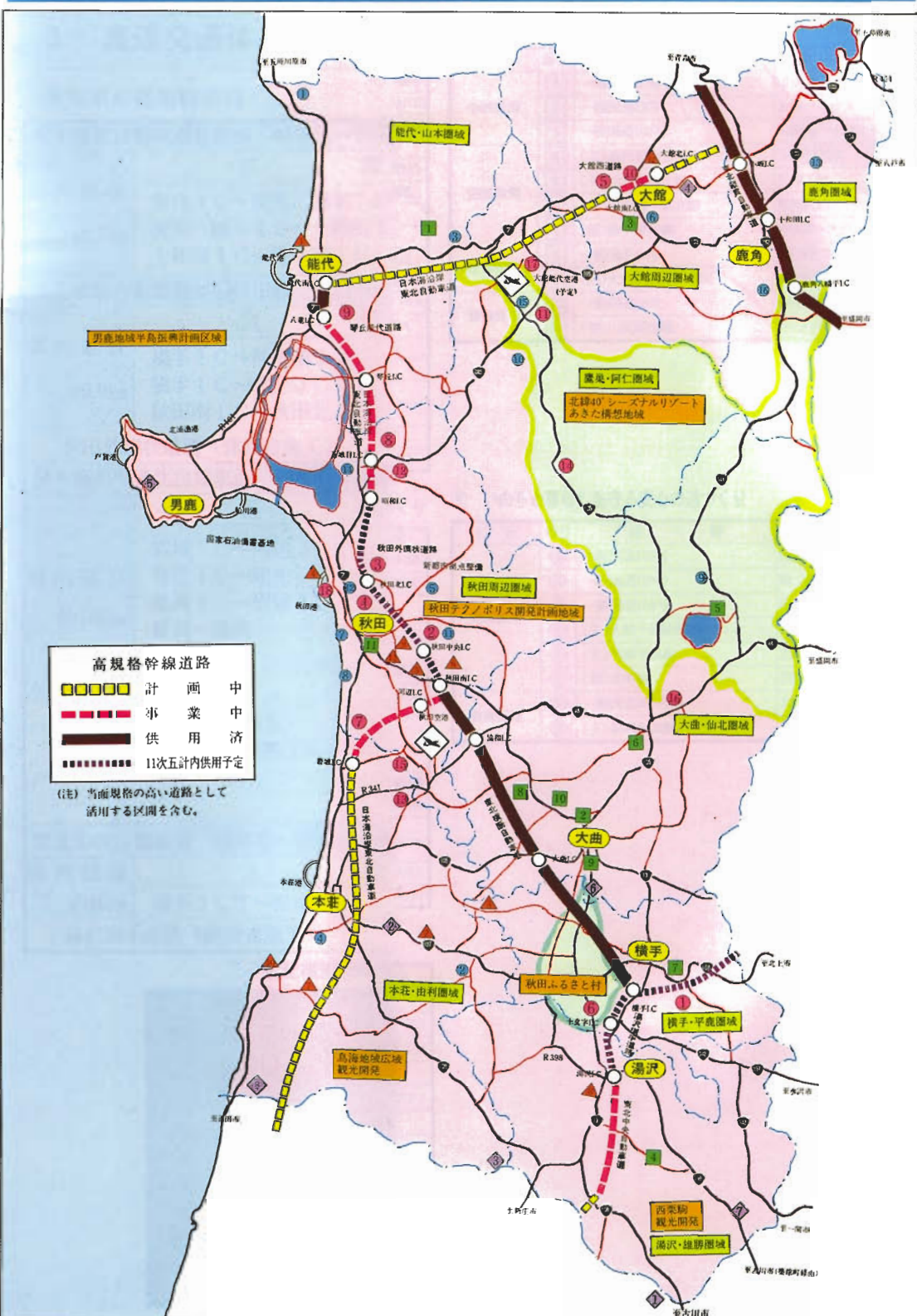
- 1) 地球温暖化の防止
- 2) 自然環境との調和
- 3) 良好な生活環境の保全・形成

を踏まえて、本県の実情を考慮しながら次の基本方針を基にして積極的にその整備を図ることとしている。

あきた21世紀の道路整備



道路整備計画と主要プロジェクト



① いきいきとした交流を図り、つながりを深める道づくり

区 分	番号	路 線	簡 所
供 用	①	東北横断自動車道釜石秋田線	北上JCT～横手
	②	東北横断自動車道釜石秋田線	秋田南～秋田北
	③	一般国道7号	秋田外環状道路
全線供用	④	(主)秋田北インター線	外旭川工区
完成供用	⑤	(市)御成町沼館線	清水工区(大館市)
部分供用	⑥	一般国道13号	湯沢横手道路
整備促進	⑦	日本海沿岸東北自動車道	岩城～河辺
	⑧	日本海沿岸東北自動車道	昭和～琴丘
	⑨	一般国道7号	琴丘能代道路
	⑩	一般国道7号	大館西道路
	⑪	一般国道105号	米内沢バイパス
	⑫	一般国道285号	山内バイパス
	⑬	(主)秋田雄和大内線	田代峠工区
整備着手	⑭	一般国道105号	笑内拡張
	⑮	(主)秋田雄和大内線	相川工区
	⑯	(主)大曲田沢湖線	真崎踏切
	⑰	(一)木戸石鷹巣線	大野台工区
	⑱	(都)大浜上新城線	飯島(秋田市)

④ 人にやさしく、婦全で快適な道づくり

区 分	番号	路 線	簡 所
全線供用	1	一般国道7号	ニッ井バイパス
	2	一般国道13号	大曲バイパス
	3	一般国道103号	大館南バイパス
完成供用	4	(主)湯沢栗駒公園線	三途川工区
	5	(主)田沢湖西木線	石神工区
	6	(都)中央線・駅北線	角館駅前
	7	(都)横手環状線	中央第一地区
整備促進	8	一般国道13号	刈田野バイパス
	9	(区)大曲駅前第二地区	大曲駅前
整備着手	10	一般国道13号	神宮寺バイパス
	11	(都)川尻飯坂線	寺町(秋田市)

② 地域の特性を活かし、たくましい底力をつける道づくり

区 分	番号	路 線	簡 所
完成供用	①	一般国道101号	八森町(道の駅)
	②	一般国道107号	奥田利根(道の駅)
	③	(主)ニッ井森吉線	七座橋
	④	(主)本荘西目線	葛法工区
	⑤	(主)秋田八郎湖線	山内工区
	⑥	(市)中町雲町線	大町地区(大館市)
	⑦	都 通り町線	駐車場内システム
整備促進	⑧	一般国道7号	秋田南バイパス
	⑨	一般国道341号	鍛冶堀端
	⑩	(一)福館阿仁前田線	仏社工区
	⑪	(市)仁別木曾石線	太平工区(秋田市)
	⑫	(都)横山金足線	柳野(飯塚橋)
整備着手	⑬	一般国道103号	赤川拡張
	⑭	(主)秋田八郎湖線	川崎工区
	⑮	大野台幹線	下杉工区(合川町)
	⑯	(都)花輪尾去沢線	舟地2区(鹿角市)

⑤ いのちと暮らしを守る安心の道づくり

区 分	番号	路 線	簡 所
完成供用	①	一般国道108号	鬼首道路
	②	一般国道107号	館(流雪溝)
	③	一般国道106号	松の本道路
	④	(主)大館十和田湖線	有田工区(消雪区)
	⑤	(主)男鹿半島線	立島工区(茨木線)
	⑥	(都)寺町線	須和南(大曲市)
整備促進	⑦	一般国道398号線	大湯道路
	⑧	(主)象潟矢島線	長坂工区

③ 若者が楽しみながら住まう環境への道づくり

区 分	番号	路 線	簡 所
完成供用	△	一般国道101号	柳町拡張
	△	一般国道107号	湯ヶ沢バイパス
	△	(主)神岡坂部横渡線	坂部、若倉工区
	△	(主)秋田天王線	飯島工区
整備促進	△	(都)南部中央線	御影ニュータウン
	△	(主)秋田町河線	手形工区
	△	(主)仁賀保矢島線	院内工区
	△	(都)山田線	小豆川(湯沢市)
整備着手	△	(区)秋田駅東第三地区	
	△	都 駅北線	仁賀保駅前
	△	区 秋田駅西地区	
	△	区 御成町南地区	(大館市)

3. 高速交通体系に応じた道路網の整備

秋田県の高規格道路

東北縦貫自動車道弘前線 練馬区～青森市 698km			
県内延長	区 間	進 捗 状 況	延 長 (km)
41.9km	安代IC～鹿角八幡平IC	S58. 10. 20開通	26.1
	鹿角八幡平IC～十和田IC	S59. 9. 27開通	11.9
	十和田IC～碓ヶ関IC	S61. 7. 30開通	28.1
東北横断自動車道釜石秋田線 釜石市～秋田市 213km			
県内延長	区 間	進 捗 状 況	延 長 (km)
89.0km	横手IC～秋田南IC	H3. 7. 25開通	56.1
	横手IC～北上JCT	工事中	50.5
	秋田南IC～秋田北IC	工事中	16.2
	秋田外環状道路（建設省施工）	事業中	9.7
日本海沿岸東北自動車道 新潟市～青森市 約340km			
県内延長	区 間	進 捗 状 況	延 長 (km)
約180km	岩城IC～河辺JCT	整備計画区間	17.0
	琴丘IC～昭和IC	整備計画区間	21.0
	象潟IC～岩城IC	基本計画区間	46.0
	象潟～県境	予定路線	10.0
	大館～小坂	基本計画区間	14.0
	能代～大館	予定路線	49.0
	大館西道路（建設省施工）	事業中	6.2
	琴丘能代道路（建設省施工）	事業中 (能代八竜町4.2km 開通H5.3.17)	17.1
東北中央自動車道 相馬市～横手市 約260km			
県内延長	区 間	進 捗 状 況	延 長 (km)
約40km	横手JCT～県境	予定路線	40.0
	湯沢横手道路（建設省施工）	事業中	29.0

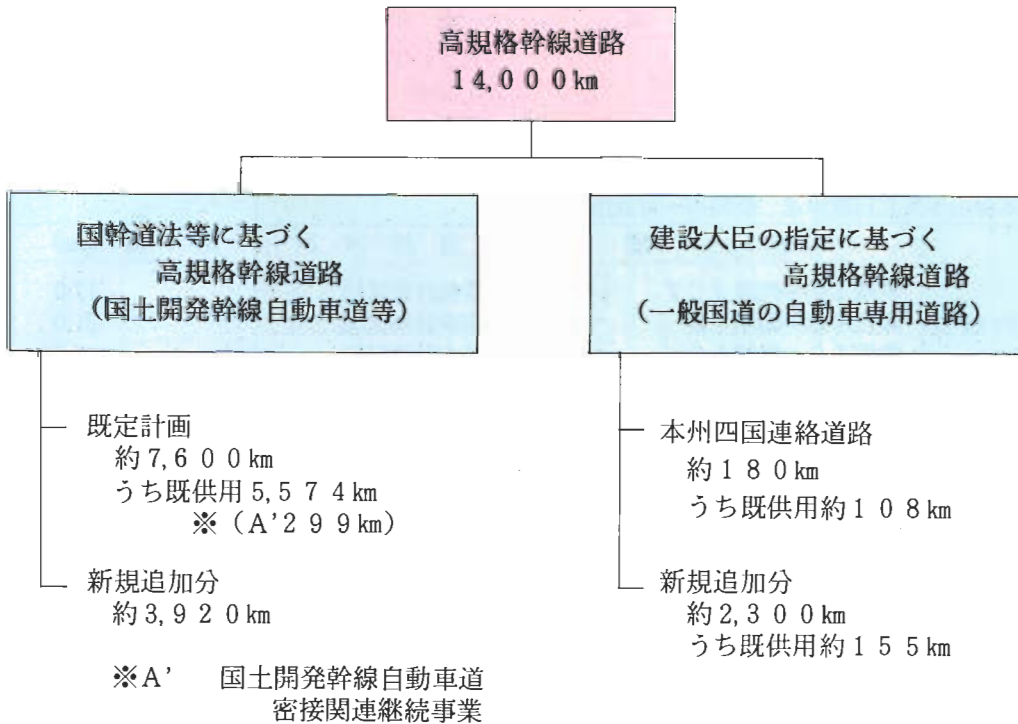
東北横断自動車道釜石秋田線 横手IC付近



高規格幹線道路網計画

昭和 62 年 6 月 26 日の道路審議会答申に基づき、建設大臣により高規格幹線道路網計画が決定されました。(昭和 62 年 6 月 30 日)

高規格幹線道路とは、自動車の高速交通の確保を図るために必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路をいいます。(既定の国土開発幹線自動車道等及び本州四国連絡道路は高規格幹線道路網の一部をなすものです)



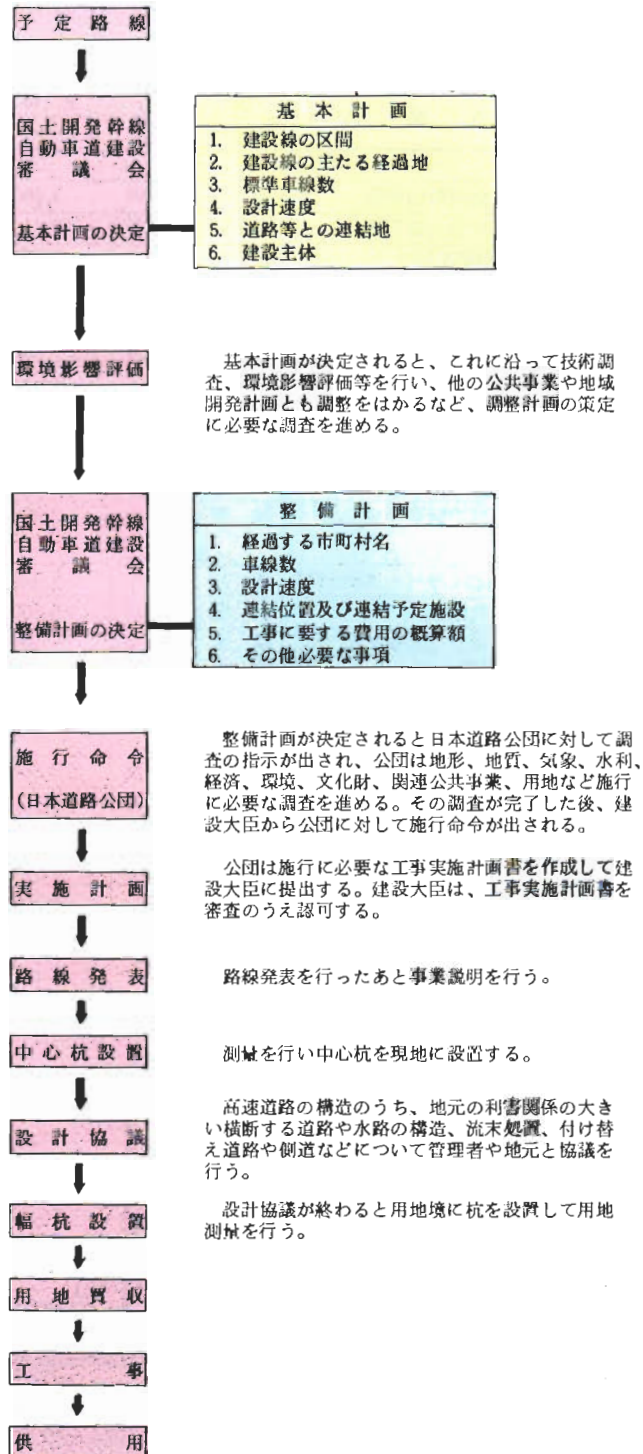
国土開発幹線自動車道密接関連継続事業とは

国土開発幹線自動車道に並行する一般国道の自動車専用道路として建設省が施工しているもので、将来高規格幹線道路網に組み入れられる予定の道路です。

秋田県内では以下の事業が行われています。

大館西道路	L = 6.2km
琴丘能代道路	L = 17.1km
秋田外環状道路	L = 9.7km
湯沢横手道路	L = 29.0km

建設手順



高速交通関連道路整備事業

高規格幹線道路の利便性を高めるため、インターチェンジと一般市街地を結ぶアクセス道路を整備するもので、現在5路線が事業中である。

高速交通関連道路計画箇所表

関 連 事 業 名	路 線 名	位 置		全 体 計 画		工 期
		市町村	字 名	延長(m)	幅員(m)	
(完 成 路 線)						
湯沢横手道路	一 金沢吉田柳田	横 手	柳 田	3,000	6.0(16.0)	S61～H 4
東北横断自動車道	主 大曲大森羽後	大 曲	内小友	2,050	6.0(11.0)	S61～H 3
	主 神岡南外東由秋主 神岡坂部機渡	南 外	山王岱	1,000	6.0(11.0)	S63～H 2
秋田空港	主 秋田御所野雄和(一 和田御所野)	河 辺	七 曲	2,000	6.5(16.0)	S56～H 2
	主 秋田北野田(主 河辺雄和)	河 辺	川原田	880	6.0(11.0)	S58～S61
東北縦貫自動車道	主 大館十和田湖	小 坂	中小坂	1,650	6.5(12.0)	S60～H 2
日本海沿岸東北自動車道	主 寺内新屋雄和(一 向浜牛島)	秋 田	向 浜	3,960	6.5(25.0)	S59～S61
	主 男鹿八竜	男 鹿	船 越	4,911	7.0(25.0)	S57～H 1
小 計				19,451		
(事 業 中 の 路 線)						
東北横断自動車道	一 秋田駅東中央	秋 田	下北手	2,820	13.0(25.0 ～43.0)	S61～H 8
	主 秋田北インター(一 外旭川新城)	秋 田	外旭川	3,500	13.0(25.0)	S60～H 7
秋田外環状道路	主 秋田昭和	秋 田	金 足	9,200	6.0(11.0)	S63～H 6
	一 男鹿昭和飯田川	昭 和	大久保	5,500	14.0(27.0)	H 3～
湯沢横手道路	主 湯沢雄物川大曲	湯 沢	森	2,200	6.0(11.0)	H 1～H 7
小 計				23,220		
(将 来 構 想)						
秋田外環状道路	主 秋田天王(主 秋田男鹿)	秋 田	飯 島	3,800	13.0(25.0)	
琴丘能代道路	主 琴丘上小阿仁	琴 丘	鹿 渡	1,000	6.0(13.0)	
日本海沿岸東北自動車道	主 秋田八郎潟	八郎潟	川 崎	2,500	6.0(13.0)	
	主 雄和岩城	岩 城	道 川	1,000	6.0(13.0)	
小 討				8,300		
合 計				50,971		

()内 旧路線名

大館十和田湖線 小坂IC付近



秋田駅東中央線



4. マイロード事業

建設省が平成2年度に提唱し事業化しているもので、「地域固有の自然、歴史、風土等を生かした地域振興策を支援するとともに、独創的な道路の創出を図る」ことを目標としている。

No.	路線名	実施箇所	テーマ・デザインコンセプト	年度
1	秋田岩見船岡線	秋田市手形 手形陸橋	秋田藩の歴史を伝える道路整備	H2
2	秋田男鹿線	天王町蒲沼 天王 グリーンランド	水と緑のふるさとの夢と神話を伝える道路整備	H3～H4
3	湯沢栗駒公園線	湯沢市高松 三途川橋	「羽川・王朝街道」 神話を伝える道路整備	H4～H5
4	二ツ井森吉線	二ツ井町天神 七座橋	「テンジンロード」 まほろばの道	H5予定

① 三途川橋

橋 梁 諸 言: 橋 長 $L=67.0\text{m}$

幅 員 $W=6.0\text{m}$ (10.0m)

構造形式 上部工

下部工

事 業 費 $C=438$ 百万円

工 事 H2~H5 (年度)



全 景 (左岸より)



あ ず ま 屋



閻魔大王親柱 (右岸側)

② 七 座 橋

橋 梁 諸 言： 橋 長 $L=174.5\text{m}$

幅 員 $W=6.0\text{m}$ (11.0m)

構造形式 上部工 3 径間連続非合成鋼箱桁

下部工 逆 T 式橋台 (鋼管杭基礎)

小判柱壁式橋脚 (井筒基礎)

事 業 費 $C=1,095$ 百万円

工 事 H2~H5 (年度)



全 景 (左岸より)



木柱転落防止柵と樹脂系混合物舗装……一般部



サケの模様を入れた高欄と木レンガ舗装……橋梁部

5. 事例紹介

① 国道103号（大館南B P——「山王岱橋」）

大館市餌釣地内

橋梁諸元：橋長 $L=240\text{m}$

幅員 $W=14.0\text{m}$ (25.0m) (上り及び下りのランプ有)

構造形式 上部工 連続鈑桁 (2径間+3径間+2径間 計3連)

下部工 逆T式橋台 (直接及び鋼管杭基礎)、
ラーメン式及び張出式橋脚 (")

事業費 $C=2,763$ 百万円

工事 H元～H5 (年度)



H5年度に区画線のみを残して概成している。

② 国道 107 号線（奥ヶ沢 BP－「奥名免橋」）

本荘市山内地内

橋 梁 諸 言： 橋 長 $L=101.5\text{m}$

幅 員 $W=6.5\text{m}$ (12.0m)

構造形式 RC 固定アーチ橋（アーチ支間 $L=71.0\text{m}$ ）

事 業 費 $C=2,240$ 百万円

工 事 H3～H6（年度）



アーチ部が完成し、上床版及び鉛直材の施工にとりかかっている。(H 6. 5 月)



③ 主要地方道秋田八郎潟線（仁別工区）

秋田市仁別地内

張出し擁壁諸言：延 長 $L=230\text{m}$

幅 員 $W=6.0\text{m}$ (11.0m)

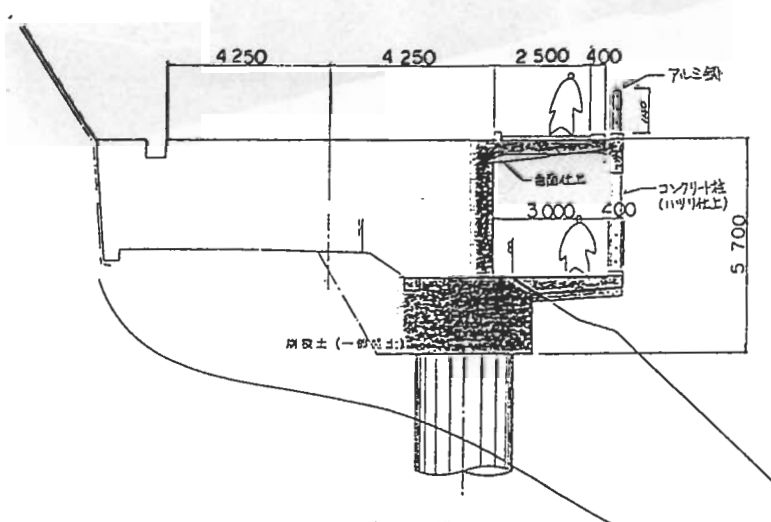
断面形式 下記の通り

事 業 費 $C=823$ 百万円

工 事 H6～H8（年度）



フォトモンタージュ



標準横断面図

第3節 道路維持課

1. 事務分掌（道路維持課）

	区 分	事 務 分 掌	人 員	備 考
道 路 建 設 課	総務担当	1. 人事、各種団体、議会に関すること 2. 予算、決算、監査、公共事業再配当に関すること 3. 給与、旅費、文書、工事経理、収支計画 4. 各種協定、調査 5. 課内の連絡調整に関すること	3	補佐 1 主事 2
	路政担当	1. 道路法、有線、道路保険、訴訟に関すること 2. 路線の認定・廃止・変更に関すること 3. 道路の区域の決定・変更に関すること 4. 占用許可、車両制限令に関すること 5. 道路台帳、各種調査に関すること	3	主席 1 補佐 1 主任 1
	市町村道担当	1. 市町村道事業の指導 2. 県代行、一般補助、交付金事業 3. 農林水産関係、山村振興計画、幹線市町村道の選定 に関すること。 4. 市町村道現況調査、奥産・水特関連事業	4	補佐 1 主査 2 技師 1
	交通安全 施設担当	1. 交通安全施設整備、大規模自転車道整備 2. 地方特定道路整備、電線類地中化事業 3. 秋田新幹線踏切安全対策、道の駅事業	3	補佐 1 主査 1 技師 1
	維持・ 防災担当	1. 舗装補修・橋梁補修・簡易舗装改築 2. 道路災害防除、道路災害復旧 3. 緊急地方道、地方特定道路 4. 側溝整備、橋梁維持修繕、鋼体橋再塗装	3	補佐（防 雪 施 （兼） 主査 1 技師 1
	防雪施設担当	1. 除雪・消融雪施設整備(5) 2. 雪寒地域道路整備、緊急地方道路整備 3. 地方特定道路整備 4. 建設機械整備	2	主査 2

2. 市町村道事業

本県の市町村道は、平成5年度現在延長18,246kmで内改良済延長9,853km（改良率54%）、舗装済延長9,554km（舗装率52%）となっており、生活に密着した道路でありながらその整備は大きく立ち遅れている。

このことから、幹線市町村道を対象に国庫補助事業として重点的に整備を実施し、生活圏の形成を推進している。

又、これらの内から、過疎化防止、特豪地域の交通確保、山村及び半島地域の振興という各立法主旨を踏まえて、地域の幹線網を形成する主要な路線や広域プロジェクトに関連した路線などは県による代行事業を実施している。

平成5年度事業

- | | | |
|---------|----------------|---------------|
| ○一般補助事業 | ◇御成町沼館線（改良） | ◇関口相川線（改良） |
| | ◇中村善知鳥線（〃） | ◇泉沢橋（橋梁整備） |
| | ◇川口二十六木線（舗装新設） | ◇上谷地槻ノ木線（雪寒） |
| | ◇温泉1号線（交付金A） | ◇鶴沼薬師堂線（交付金B） |
| | ◇水無野（交付金雪寒） | |

等 130箇所

- | | | |
|--------|--------------|--------------|
| ○県代行事業 | ◇市役所東町線（改良） | ◇ぶな森線（改良） |
| | ◇ブナ森線（〃） | ◇生内3号橋（橋梁整備） |
| | ◇清水小屋橋（橋梁整備） | |

等 14箇所



県代行事業

村道羽場中ノ台線

雄勝郡皆瀬村

橋長 L=180m

幅員 W=5.5(9.25)m

型式 ニールセンローゼ橋

工期 S62~H6

3. 電線類地中化事業

安全で快適な歩行者空間の確保、及び都市景観の向上、防災機能の強化等を目的とし、地域との調和を図りつつ、電線管理者と道路管理者が協力のもとに整備する事業である。

電線類地中化整備実績及び計画

種 別	整備延長 (m)	第 1 次 5 箇 年 計 画					備 考
		S 61	S 62	S 63	H 1	H 2	
キ ャ プ	920.0	380.0	540.0	—	—	—	
管 路	—	—	—	—	—	—	

種 別	整備延長 (m)	第 2 次 5 箇 年 計 画					備 考
		H 3	H 4	H 5	H 6	H 7	
キ ャ プ	1,887.4	—	—	422.2	870	—	
管 路	412.5	—	—	—	400	—	自治体

(着 工 前)



(完 成)



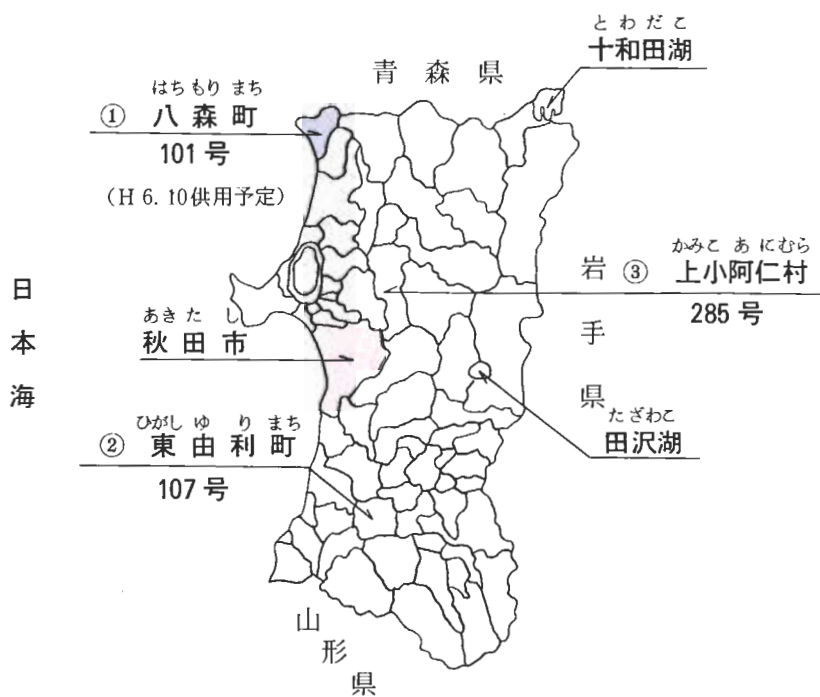
4. 特定交通安全施設整備事業

【二種事業 簡易パーキング】

道の駅

夜間運転、過労運転による交通事故防止を目的として、道路管理者が整備する駐車スペースと市町村などが設ける各種の地域振興施設とを一体的に整備し、ドライバーへのサービスの高度化、密度の濃い地域情報の提供等を行うべく【道の駅】として特定交通安全施設等整備事業により整備している。

箇所位置図



① 路線名 一般国道 101 号

駐車場名 お殿水パーキングエリア

箇所 秋田県山本郡八森町岩館

概要 国道 101 号は、秋田県能代市と青森県深浦町を結ぶ（約 6.6km）秋田県北部を南北に縦断する主要な幹線道路である。

当計画箇所は、能代市と深浦町のほぼ中間点にあたり、男性的な魅力に溢れる日本海が一望できると共に、古来から伝わる通称「お殿水」の湧きでる地点でもある。八森町が計画中の地元特産品の展示・即売所や観光案内所を備えた資料館等と隣接して計画する。

事業主体	秋 田 県
事業年度	H 4 ～ H 5
収 容 台 数	25 台
うち大型車	5 台
全 体 面 積 (うち駐車・ 休憩スペース)	4,123 ㎡ (2,050 ㎡)

お殿水 パース



② 路線名 一般国道 107 号

駐車場名 老方パーキングエリア

箇所 秋田県由利郡東由利町老方

概要 国道 107 号は本荘市と横手市を結ぶ（約 55km）秋田県下を東西に横断する主要な幹線道路である。又、秋田県と岩手県を結ぶ重要なルートでもある。

当計画箇所は、本荘市と横手市のほぼ中間点にあたり、緑豊かな田園に囲まれ、東北を代表する秀麗なる「鳥海山」と地元のシンボル「八塩山」が眺望できる。又、東由利町が計画している地元物産品の展示・即売所や観光案内所を備えた農村交流館等と隣接して計画する。

事業主体	秋 田 県
事業年度	H4 ～ H8
収 容 台 数	50 台
うち大型車	18 台
全 体 面 積 (うち駐車・休憩スペース)	8,530 m ² (4,870 m ²)

老 方 パース



③ 路線名 一般国道 285 号線

駐車場名 福館パーキングエリア

箇所 秋田県北秋田郡上小阿仁村福館

概要 国道 285 号線は、秋田市と鹿角市を結ぶ（約 119km）県都から県北部への重要な幹線道路である。

当計画箇所は、本線のほぼ中間点であり、上小阿仁村の中心部である。又、○福館阿仁前田線の起点部でもある。

上小阿仁村が計画中的お祭り広場及び図書館・資料室等も隣接して計画している。

事業主体	秋 田 県
事業年度	H5 ～ H7
収 容 台 数	53 台
うち大型車	19 台
全 体 面 積 (うち駐車・ 休憩スペース)	8,000 m ² (4,500 m ²)

福 館 パ ー ス



5. 道路の雪対策事業

本県は、全域が積雪寒冷特別地域となっており、そのうち 24 市町村が特別豪雪地帯に指定されるなど、冬期には日本海側特有の厳しい気象条件となっております。

このため、日常生活、産業活動等いろいろな面で制約がしいられ地域発展に支障をきたしているのが現状であり、これを克服し地域住民の生活安定や産業活動の振興をはかるためには、冬期交通確保の充実が不可欠であります。

道路除雪の効率化をはかり、消融雪施設や雪崩、地吹雪対策のための施設整備を促進するとともに、冬期における歩行者空間を確保するため、歩道除雪に積極的に取り組み、冬期でも安全で快適な雪に強い道づくりを推進しております。

(1) 防雪・凍雪害防止事業

防雪・消融雪施設延長

H 6 . 4 : 1 現在

種 別	箇 所	延 長
スノーシェッド	68	6,700.0m
スノーシェルター	29	3,767.5m
雪崩予防柵	54	6,584.2m
雪崩防止壁	28	4,932.9m
防 雪 柵	90	69,484.0m
消雪パイプ(車道)	25	18,034.6m
無 散 氷(車道)	1	117.3m
無 散 氷(歩道)	18	11,501.8m
流 雪 溝	132	112,252.2m
チェーン着脱場	17	16,957.0㎡

(2) 除雪事業

(イ) 平成5年度除雪事業計画表

H5. 12. 1現在 (単位: km)

道路種別	道 路 実 延 長	雪寒指定 延 長	平成4年度除雪延長			道路実延 長に対する 除雪率	委託率
			公 共	単 独	計		
一般国道	868.7	891.5	791.6	0.0	791.6	91.1%	79.2%
主要地方道	1,261.4	1,257.7	1,140.1	14.9	1,155.0	91.6%	96.4%
一般県道	911.2	866.9	769.4	17.7	787.1	86.4%	94.6%
合 計	3,041.3	3,016.1	2,701.1	32.6	2,733.7	89.9%	90.8%

・歩道除雪計画

・バス路線の除雪計画

道路種別	歩 道 除 雪			自 動 車 交通可能 延 長	バス路線 延 長	除雪実施 延 長	除 雪 率
	のべ延長	除雪延長	除 雪 率				
一般国道	433.4	191.2	44.1%	868.7	684.1	647.7	94.7%
主要地方道	468.2	162.1	34.6%	1,225.2	839.1	829.3	98.8%
一般県道	203.3	69.7	34.3%	885.6	457.2	454.8	99.5%
合 計	1,104.9	423.0	38.3%	2,979.5	1,980.4	1,931.8	97.5%

(ロ) 除雪機械内訳表

H5. 12. 1現在

機械名	ロータリ 除 雪 車	除 雪 トラック	除 雪 グレーダ	除 雪 ドーザ	小 型 除 雪 車	凍結防止 剤散布機	合 計
台 数	49	24	66	47	28	23	237

流雪溝の利用状況



歩道消融雪施設（消雪パイプ）の利用状況



機械除雪（ロータリ除雪車による拡幅除雪）



歩道除雪後の通学状況



ロードヒーティングの利用状況



消雪剤散布状況



6. 地方道路橋梁補修事業

本県の国県道を合わせた橋梁数は、平成5年4月1日現在2,409橋となっており、そのうち県管理の橋梁数は2,177橋となっております。

合川橋は、昭和46年の架設となっておりますが近年交通量の増大により、特に重交通の急激な増加により床版の破損など橋梁の損傷が激しく、又コンクリートの劣化も進んでおり加えて道路構造令の一部改正がなされ、車両総重量25tへの引き上げに伴う対応として補修工法の見直しを実施し、下部工補強、上部工全面打ち替え工法で平成4年度より補修事業を実施しております。

【事業概要】

路線名	③主鷹巣川井堂川線（合川橋）
位置	北秋田郡合川町川井～李岱地内
橋長	L=148.1m W=5.5m (7.5m) (鋼単純合成鈹桁)
補修内容	L=148.1m W=6.0m (11.0m) (鋼単純合成鈹桁) 下部工補強、上部工既設桁撤去再設置・増設桁、床版全面打替え、 車両総重量25t対応
総事業費	880,000千円
施工年度	平成4年～平成7年

標準横断面図

標準横断面図

